

### 第3回 協働のまちづくりを実現する町民討議会議の記録



2014年 3月

愛知学泉大学現代マネジメント学部伊藤研究室

## 目 次

1. はじめに	・・・ 1
2. 町民討議会議開催の経緯について	・・・ 1
3. 第3回 協働のまちづくりを実現する町民討議会議の記録	・・・ 2
<b>9月29日【第1日目】</b> の記録 [テーマ]豊山町の防犯を考える	
【第1ラウンド】	・・・ 2
ステップ2：豊山町の犯罪発生状況をクイズで学ぶ	
ステップ3：あなたの被害体験を教えてください	
ステップ4：現実的な防犯対策をグループで考えてください	
【第2ラウンド】	・・・ 6
ステップ6：豊山中学校で作成された安全マップについて紹介します	
ステップ7：グループごとに『見守り安全マップ』を作成してもらいます	
※見守り安全マップは別データ参照参照	
【第3ラウンド】	・・・ 8
ステップ9：自然な見守りを考えるヒントになるような事例を紹介します	
ステップ10：自然な見守りのアイデアを考えて下さい	
ステップ11：グループでまとめた項目の発表と投票	
<b>10月5日【第2日目】</b> の記録 [テーマ]地域のリーダーを考える	
【第4ラウンド】	・・・ 10
ステップ2：豊山町の地域コミュニティの現状について説明します	
ステップ3：豊山町の『地域コミュニティ年表』を作しましょう	
※地域コミュニティ年表は別データ参照	
【第5ラウンド】	・・・ 11
ステップ4：新しい住民の『お迎えイベント』を考える	
【第6ラウンド】	・・・ 14
ステップ5：『お迎えイベント』の実行委員会を組織してください	
ステップ6：発表と投票	
4. 資料：アンケート結果の概要	・・・ 19

## 1. はじめに

・豊山町町民討議会は、①協働のまちづくりに対する意識向上の機会とする、②町政に対して従来サイレントマジョリティーであった多様な町民の意見を反映する、③総合計画の見直しに向けて幅広い町民の意見を今後4年間にわたり蓄積していく、ことを目的として、平成23年度に第1回目を実施され、今年度は3回目の実施になるものです。

・町民討議会は、全町民（18歳以上）から無作為抽出された2000名に町長名による招待状を送付し、参加を希望した63名の町民から抽選により決定した50名の町民が有償で、2日間にわたり話し合う会議です。

・今年度は、第1日目が「豊山町の防犯を考える」、第2日目が「地域のリーダーを考える」という2つのテーマで実施されました。第1日目の町民討議会議の実際の参加者は、43名、2日目の参加者は42名でした。

## 2. 町民討議会議開催の経緯について

・今年度の町民討議会議は、4月23日に豊山町との第1回の打ち合わせを行い、第2回目の5月14日の打ち合わせまでに以下の点を確認しました。

- 1)今年を含めて後3回、2015年度まで5回を実施する。
- 2)今回も昨年に引き続き特定テーマを深めるような町民討議会議とする。
- 3)今年度のテーマとして行政からの提案として「防犯」を採り上げる。
- 4)第1回目の町民討議会議の結果を受けて、『コミュニティのリーダー育成』をもう一つのテーマとする。
- 5)今年度の実施は9月～10月実施を目指して準備を進める。

・第2回目の打ち合わせにおいて、テーマを下記のように設定し、プログラムの検討を進めました。

### ○ [1日目] 防犯・美化事業について

※犯罪発生率が恒常的に高いことに加えて最近数ヶ月の発生件数が特に増えているので町民の関心も高いと考えられる。

### ○ [2日目] リーダー育成事業について

※地域リーダーの世代交代、後継者問題から提起された課題であるが、自治会組織の活性化につながる議論に発展させる。

・6月25日の第3回打ち合わせにおいて、プログラムの大枠を決定し、それ以降は細部の検討を進めました。

・今年度は、第1日目を9月29日、第2日目を10月5日とし、両日共に無事開催することができました。



第3回  
協働のまちづくりを実現する町民討議会議の記録

9月29日【第1日目】 <テーマ> 豊山町の防犯を考える

10:00

ステップ1：はじめに

- 5分 ・町長あいさつ
- 10分 ・今回の町民討議会議の全体の構成と進め方を説明します。

【第1ラウンド】

10:15

ステップ2：豊山町の犯罪発生状況をクイズで学ぶ【情報提供】

- 20分 ・豊山町の最近の犯罪の発生傾向と周辺地域の犯罪発生状況についてクイズ形式で説明します。  
※クイズの内容と結果については省略

10:35

ステップ3：あなたの被害体験を教えてください

- 5分 ・あなたが体験した犯罪被害の記憶を自己紹介シートに書き出して下さい。
- 20分 ・グループでそれぞれの被害体験を紹介し、共有化して下さい。

【自己紹介シートの記録】

●車上荒らし・自動車盗難

- 今年の9月6日に駐車場に施錠して停めて置いた車を盗まれました。気づいたのは朝で、夜中に被害にあいました。
- 20年ほど前、車の鍵を壊された（車の中に取り物が無かったので、それだけの被害）。
- 私は昨年、一昨年と2年連続で「車上ねらい」の被害にあい「カーナビ」を盗られました。
- 息子がハイエースの鍵を壊され、カーナビを盗られた。車のタイヤを4本盗まれました。車の当て逃げをされました。
- 車上荒らし。7年前、如意のセブンイレブンでセダンの後の三角窓を割られて、後部座席のカバンを盗まれた。変質者。昨年、家の近所で女性用下着を着用している男が、自宅周辺の道路で遊んでいた子ども達に見せつけた。
- 車の盗難、車上荒らし、自転車の盗難。
- 20年ほど前、自宅駐車場に停めてあった車が盗まれました。門も閉めてあったのですが、車にカギをつけたままでした。でも自分の車を自分で見つけました。となり部落。
- H11年4月、車上ねらい（プレザー服）。H23年2月、家の2階でテレビを見ていた時（勝手口のカギがかかっていなかった）。被害無し。
- 車庫に停めてある車の鍵を壊されました。車庫に停めてある車の中の財布を盗まれた。どちらも

自宅に隣接するガレージ。

- 車鍵被害に遭った。車の中には貴重品がなかったが、500 円の商品券が盗まれたけだったので届け出はしなかった。
- 車鍵狙いに遭い、クレジットカードを盗られ使われました。
- お墓参りに生き、車上ねらいに遭った。スーパーで財布をすられた。

### ●忍び込み・空き巣・居空き

- 20 年位前ですが、朝方 4 時頃、2 階で寝ている間にドロボーに入られました。いつもはトイレに起きないのに、4 時頃、2 階から階段を 2 段位おりた時、灯りが見えた為、母親が起きていたと思ったが、ドロボーさんでした。うっかり声を掛けなくてよかったと思っています。結果はベランダへ出て、ドロボーさんを逃がしました。
- 空き巣（帰宅したらセコムの人人居て、犯人を帰した）。ひったくり（空港で）。自動車ドロボー、自転車ドロボー。ピッキング。
- 夫婦で車で外出した後、知らない人が玄関から入って来て、母がいたのでよかったですが、知らない人が「誰さんの家ですか」と言ったそうです。もし母がいなかったら被害にあったと思います。
- 空き巣、忍び込み被害。→小学生の頃、3 回ほど。2 回は旅行中、1 回は就寝時。鑑識の方に指紋採取などをしてもらったが、犯人は捕まらなかった。
- 3 年程前に自宅が空き巣に遭う。PM7:00 頃に裏口よりガラスを割って侵入される。
- 深夜、忍び込みされて、現金、貴金属を盗られました。自転車を盗られました。車のフロントガラスを割られました。
- 3 年位前の 8 月ごろ空き巣にあいまして、貯金箱の 500 円玉を 20 万円ぐらいで済みましたが、家中、物を散らかしていかれました。その 1 ヶ月後に又入られて、1 円玉、10 円玉の貯金箱だけで済みました。

### ●自転車盗

- 娘が自動車学校に通っていた時、自転車ドロに学校であった。
- 息子が高校生の時、社協セミナーで自転車の盗難にあった。3 年ほどして勝川の駅から電話があって、その自転車だったので戻ってきました。
- 自転車 2 台。
- 息子の自転車が盗難にあい、数ヶ月後に放置宅の人より電話があり取りに行った。
- 自転車を盗られました。2 回。(安藤悦子)
- 30 年前に、自転車ドロボーに遭いました。スーパーの自転車置き場にカギをかけずに置いといたら盗られました。
- 家の前に停めていた自転車を盗られました。5 年位前の夏、自宅の裏側に不審な人が数回現れ、おかしいな? と気付き、主人がバットを用意していたところ夜に現れ、追っかけましたが逃げられました。警察に通報したところ、決して追いかけるような真似はしないようにと言われました。

### ●置き引き

- ショッピングセンターのキッズルームで遊んで、かばんを離れた所に置いていたら盗まれた。児童館でサイフの中の現金だけ盗まれた。

- 自分はありませんが、他人の方が海外旅行で、店で物を見ていた際、鞆を置いてた所盗まれた。一瞬の事でした。
- ① 30 年程前、春日井百貨店にて家内が置引被害に遭う。一応、店に報告したが分からず仕舞い。  
②小牧の病院で、家内の洋服を盗まれる（入院中）。別室に行った際のこと。病院に話をしたが分からず。

●振り込み詐欺・オレオレ詐欺

- 高校の時に、学校に置いてあった自転車を盗まれました。親が振り込み詐欺にあいそうになった。
- オレオレ詐欺。県外に住む息子の名前で電話がありビックリしました。携帯をトイレに落とし、番号が変わったと言って新しい番号を言い出し、おかしいと思い会社に電話すると言ったら切れました。

●事務所荒らし

- 会社事務所の空き巣（火災）。
- 仕事先で道具を盗られました。仕事が終わった後、泥棒に入られる。

●その他

- 無言電話。のぞき（隣人だった）。露出者。
- 息子が小1の時の5月、集団で帰宅途中に手を引っ張られ（息子と女の子）そうになり、1人が学校の先生へ、1人が家の人にと連絡を取り、その後、防犯パトロールして頂きました。毎年5月にいろいろな人が出るようです。例) ナイフを顔に当てる。時間はPM2～5時。
- インターネットのアカウントハック。購入した電子マネーを全額使われた。
- 社宅に入っていた当時、庶務課の要請で消火器があるかチェックに来ましたと言われ、たまたま小さな消火器しかなかったので、容量が小さいという理由で大きいものを買わされた。実際、会社はそのようなチェックをしていなかった。
- ひったくり…自転車をちょい乗りで引ったくりに会いました。自転車の車上狙い（カバンを盗られました）。

11:00

**ステップ4：現実的な防犯対策をグループで考えてください【討議】**

- 30分 ・防犯対策として何が必要かを話し合い、犯罪被害から身を守る有効な対策をグループで5つ上げてください。個人レベルの対策からコミュニティレベル、町レベルの対策まで現実的かつ有効と思われるものであればどんなことでもかまいません。

11:30

**ステップ5：グループの話し合いの結果を全体の場で発表してもらいます【発表】**

- 30分 ・5つの防犯対策について各グループ3分で発表してもらいます。

**【現実的で身近な防犯対策のまとめ】**

① 個人でできる防犯対策	
1	1) 玄関の2重ロック

	<p>2) カギをかける。(家、車、自転車など)</p> <p>3) 常にかぎをかける事を心がける。(自転車はチェーンで柱のようなものにかける)</p> <p>4) 自転車の盗難防止。自宅でも鍵をかける。</p> <p>5) ゴミ出しや少しの外出でも家の鍵をかける。夜の外出は電気をつける。</p>
2	<p>1) 自分の身(車等)は、自分で守る。</p> <p>2) 自己の防犯意識の自覚を高める。(いつも施錠をする)</p> <p>3) 自宅の防犯意識を見直す。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族と一緒に防犯について話し合う</li> <li>・自宅車庫でも自転車にかぎ</li> <li>・家の回りに、燃えやすい物(新聞紙、本など)を置かないようにする</li> <li>・防犯カメラの設置、外まわりの整理整頓</li> </ul> </p>
3	<p>1) 車上狙い対策として、車の中は、物とか貴重品を置かない。</p> <p>2) 貴重品は目につく所へ置かない。(車など)</p> <p>3) 車内に、カバンなど置きっぱなしにしない。</p>
4	<p>1) 留守を知られない為に、  <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞をためない</li> <li>・家の灯りをつけておく</li> <li>・駐車場に自転車を置く</li> </ul> </p> <p>2) 女性の防犯注意。男性用のくつ等(衣類)</p>
5	<p>1) 防犯グッズの利用で防犯をする。</p> <p>2) 家のまわりのセンサーライトを付け、たま砂利を置く。</p>
6	<p>1) オレオレ詐欺。家族で合言葉を決めておく。(例えばペットの名前)</p>
7	<p>1) 番犬で防犯対策</p>
<b>② コミュニティですべき防犯対策</b>	
1	<p>1) 声掛け運動</p> <p>2) 近所の方へ声かけをする。</p> <p>3) 近隣住民の方と声を掛け合う。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園や道路など死角になるところをなくす</li> <li>・路上駐車増加を防ぐ</li> <li>・常に公共の場は、人の目があるようにする</li> </ul> </p> <p>4) 近所との交流(声かけ)</p> <p>5) 留守にする時は、近所に声をかける。</p> <p>6) 近所付き合いを深める。</p> <p>7) 見かけない人に声をかけるようにする。</p>
2	<p>1) 各自治会の昼間・夜間の見回り等</p> <p>2) 地域でパトロールをする。</p> <p>3) 防犯パトロールの見直し、小地区で行う等。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ時間、場所ではなく、ランダムにまた、昼も行う</li> <li>・近所で防犯パトロール</li> </ul> </p> <p>4) コミュニティー単位のパトロールをする。</p> <p>5) 単位の夜間パトロールの実施</p>
3	<p>1) 住人のコミュニティ(個人情報)を共有する。</p>
4	<p>1) 暗いところをなくす。電灯をつける。(センサータイプなど)</p>
5	<p>1) 子どもの防犯対策を強化する。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族参加の出来るイベントを増やす</li> <li>・親子の連絡、近況を知ることで成りすましを見破る</li> </ul> </p>
<b>③ 行政にしてほしい防犯対策</b>	
1	<p>1) 町内の暗いところ、曲がり角などに防犯灯をつけてほしい。</p>

	2) 公園に照明が必要
	3) 街灯を増やす。
	4) 街灯の増設等、夜道での防犯対策。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜、外出する際は、できるだけ1人ではなく、やむおえず1人での外出は、防犯ブザーなど所持するようにする</li> <li>・明かり、街灯を増やす、人通りが少なく暗い路を作らない</li> <li>・街灯の設置（特による暗い場所、青色灯は防犯効果が期待できる）</li> </ul>
	5) 街灯設置
	6) 街路灯の設置
	7) 街路灯を多くつけて明るい町づくり
2	1) 犯罪情報を町民に知らせる方法を考える。 2) 被害者情報の共有（被害を広報にのせる等） 3) ケーブルTVを利用して防犯について放映をする。
3	1) 防犯カメラを設置する。（ダミーでもいいので） 2) 防犯カメラの設置（各自治会で話し合う）
4	1) 放置車両等の撤去

 **昼休み・席替え（60分）** 

※【第1ラウンド】のグループで昼食を取って下さい。席替えは【第2ラウンド】前にします。

**【第2ラウンド】**

**13:00**

**ステップ6：豊山中学校で作成された安全マップについて紹介します【情報提供】**

30分 ・豊山町の事例と全国各地で取り組まれている「安全マップ」づくりの目的と事例を紹介します。

**13:30**

**ステップ7：グループごとに『見守り安全マップ』を作成してもらいます【討議】**

30分 ・「豊山中学校安全マップ」と白地図の上に次の3つの項目を記入し、『見守り安全マップ』を作成して下さい。

①「豊山中学校安全マップ」の中に、ご自分のお住まいを探して赤いシールを貼り、今日この会場まで来たルートマジックで書き入れて下さい。中学生たちが危険を感じている場所を確認して下さい。

②地域の安全を守るためには、人の目があることが大切なポイントです。いつの間にか私たちは通りを歩いたり、家の外で佇んだりする習慣を失ってきたのではないのでしょうか。コンパクトなまちである豊山町をより安全な町にするためには、自然な見守りができるようなウォーキングコースを町の中に張り巡らしていくことが有効ではないのでしょうか？「歩いて楽しいウォーキングコース」を整備するとしたらどのようなコースが考えられるかを白地図に書





き入れて、自然な見守りのポイントを書き加え、『見守り安全マップ』を完成して下さい。

※記録は別紙参照

**14:00**

**ステップ8：グループごとに『見守り安全マップ』を発表してもらいます [発表]**

30分 ・『見守り安全マップ』の「歩いて楽しいウォーキングコース」について、全体の場で提案してもらいます。

 休憩・席替え (15分) 

**【第3ラウンド】**

**14:45**

**ステップ9：自然な見守りを考えるヒントになるような事例を紹介します [情報提供]**

20分 ・防犯パトロール活動は、数年前から全国的な広がりを見せていますが、その継続性と有効性の点から今回検討するキーワードとして「自然な見守り」を実現する提案を考えて頂きたいと思います。豊山町で現在行われている防犯パトロールの実態を説明します。次に他地区のいくつかの事例を紹介します。

**15:05**

**ステップ10：自然な見守りのアイデアを考えて下さい [討議]**

40分 ・豊山町にふさわしい自然な見守りを進めるために「歩いて楽しいウォーキングコース」を実現するアイデアをグループで話し合って3つ考えてください。

**15:45**

**ステップ11：グループでまとめた項目の発表と投票 [発表・投票]**

30分 ・それぞれのグループでまとめた3つの項目を発表します。個人の考えで全体の項目の中から共感できる項目をシール投票で評価します。(1人5票)

[歩いて楽しいウォーキングコースを実現するアイデアのまとめ]

提案項目	単独票	同種票	同類票
1. 道沿いの美化	16	26	6 3
2. 街路樹の下を利用して季節の花を植えたり、ガーデニング、イルミネーションを設置して歩行者をあきさせない。	10		
3. 毎日、ウォーキングをしている人にタスキを渡す。	13		
4. ポイント制にする。 (公共の場を利用して、スタンプポイントにする)	7		
5. ウォーキングを楽しく行う為に案内板やスタンプラリーを行ったりしてほしい。	5		
6. 自治会単位で防犯パトロールのルート散歩する	7		
7. 保健センターのウォーキング教室を利用 ウォーキング後にキケン個所について話し合う。	5		
1. 街灯の設置	8	31	5 5
2. 外灯の設置	6		
3. 暗いところをなくす。	6		
4. 門灯、街路灯を増やし暗がり減らす	6		
5. 歩道や街灯を整備する。(車や自転車、変質者から守る)	5		
6. 歩道の整備(拡張)	8		
7. 歩道の確保整備	6		
8. バリアフリーの道がほしい。 (ベビーカーや車いすなどのための草取り)	10		
1. 歴史、川魚、季節の花のマップを作る。	9	26	4 4
2. 神社仏閣を中心	6		
3. 自然を中心(川、桜路)	6		
4. 体力健康を中心、親子など	6		
5. 「不審者警戒中」のボードを希望者に配布。	10		
6. 豊山自主パトロール隊の存在やパトロールの告知や被害マップ等を作成し回覧してほしい。	8		
1. 見慣れない人に声をかける。	11	26	3 9
2. 道行く人に意識して声をかける	8		
3. 知らない人でもあいさつを交わす	7		
4. 気になる子供がいたら声掛けをする。 (自主パトロールなど)	9		
5. 登下校のあいさつ 供用施設でのコミュニケーションを大切にする。	4		
1. 親が良い見本を見せてあげる。 (親の生活、夜更かしなど)	10	10	1 0

**16:15**

**ステップ 12 : まとめとアンケート**

- 10分
- ・事務局より次回の確認など
  - ・簡単なアンケートをお願いします。

10:00

ステップ1：はじめに

- 5分 ・ 本日の流れを確認します。
- 10分 ・ 第一日目の結果について簡単に報告します。

**【第4ラウンド】**

10:15

ステップ2：豊山町の地域コミュニティの現状について説明します【情報提供】

- 15分 ・ 豊山町は、人口が現在も増加している数少ない自治体です。地域コミュニティという視点から豊山町の現状について説明します。
- 20分 ・ 次にグループで簡単な自己紹介として、前回作成した「豊山中学校安全マップ」を再度使って、自己紹介をします。地図上でご自分のお住まいを探して、緑色のシールを貼って下さい。この会場に来るまでのルートを書き入れて下さい。

10:50

ステップ3：豊山町の『地域コミュニティ年表』を作しましょう【討議】

- 20分 ・ グループごとに『地域コミュニティ年表』に貼るポストイットを書いて下さい。
  - ①あなたは、いつから豊山町に住んでいますか？
  - ②豊山町の町民であるという意識が持てたのはいつ頃ですか？
  - ③豊山町の暮らしであなたにとって一番思い出に残っている年とその内容は？
- 15分 ・ 全体で『地域コミュニティ年表』を完成させます。

1945	1970	1980	1990	2000	2013

※空港の県営化、東海豪雨など主要な出来事の記入  
※人口の推移のグラフ化

- 35分 ・ 完成した『地域コミュニティ年表』を全体場で確認しましょう。

※別紙参照



昼食・席替え (60分)

※【第4ラウンド】のグループで昼食を取って下さい。席替えは【第5ラウンド】前にします。

## 【第5ラウンド】

13:00

### ステップ4：新しい住民の『お迎えイベント』を考える【討議】

60分 ・新しく豊山町民になった人を地域（それぞれの範囲）でお迎えする効果的なイベントを提案して下さい。

30分 ・グループで考えた『お迎えイベント』提案を発表してもらいます。【発表】

### 【お迎えイベントの提案のまとめ】

ステップ4：お迎えイベントの提案			グループ（1）
	自治会レベル	小学校区レベル	町レベル
イベント提案	組長会議に出席してもらう	ウォーキングで町を紹介	
その他提案			町内の便利マップの配布
実施主体	自治会長	PTA（各地区）	役場
開催時期・回数	4回程/年	随時	随時

ステップ4：お迎えイベントの提案			グループ（2）
	自治会レベル	小学校区レベル	町レベル
イベント提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明公園で焼肉パーティー</li> <li>・公民館でもちつき</li> <li>・自治会内の道路を清掃</li> <li>・総会に出席してもらう(入会を！)</li> <li>・豊山町内をウォーキング(町内を案内)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神明公園で焼肉パーティー</li> <li>・一輪車の発表(新栄、ダンスも)</li> <li>・春の運動会(大縄とび大会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝市を盛り上げ、魅力的な商品を！</li> <li>・朝市に誘って景品を</li> </ul>
その他提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会に出席してもらう(入会を！)</li> <li>・豊山町内をウォーキング(町内を案内)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊山町はこんなところ！（カラー版で）</li> </ul>
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティーを作る</li> <li>・各自治会が集まる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊山町</li> <li>・商工会</li> </ul>
開催時期・回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1回</li> <li>・年に2回</li> <li>・総会時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1回</li> <li>・年に2回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回</li> </ul>

ステップ4：お迎えイベントの提案			グループ（3）
	自治会レベル	小学校区レベル	町レベル
イベント提案	掃除兼焼き芋パーティー BBQ	ソフトバレー大会 （コミュニティ） （秋祭り）	盆おどり（夏） 町民運動会（秋） 町マラソン大会（冬） 桜祭り（春） 老人会（BBQ）
その他提案	ラジオ体操	ラジオ体操 潮干狩り	
実施主体	自治会長もしくは、 自治会で話し合った 代表	保護者の代表	各行事毎の代表者
開催時期・回数	・掃除兼焼き芋パーティー 秋1回 ・BBQ 夏1回	・ソフトバレー大会 春1回 ・潮干狩り 春1回	

ステップ4：お迎えイベントの提案			グループ（4）
	自治会レベル	小学校区レベル	町レベル
イベント提案	会場（趣味・情報）	バザー（服、日用品）、 身辺整理	フリマ、身辺整理
その他提案	ライン発信、回覧板	メルマガ発信	メルマガ発信
実施主体	自治会、個人	PTA、町	PTA、町、豊山チャンネル
開催時期・回数	月1回	3月春、10月秋 （衣替え時期）	年1回

ステップ4：お迎えイベントの提案			グループ（5）
	自治会レベル	小学校区レベル	町レベル
イベント提案	・自治会レベルでバザーや通販の購入などを行う	・学校の行事と地域の交流イベント	・既存イベント ・町民体育大会 ・文化展、健康フェスティバル ・とやまでナイト他
その他提案	・お茶会などを行ってもらおう	・PTA以外も行事に参加しやすいシステム	・アピタをからめる

実施主体	・地元でお店を経営している方	・自治会、PTA	・役場、アピタ、個人店
開催時期・回数	月1回～2回	行事、イベントがある時	

ステップ4：お迎えイベントの提案			グループ（6）
	自治会レベル	小学校区レベル	町レベル
イベント提案	花見、お祭り	運動会、学習発表会	運動会、お祭り（夏）豊山デナイト
その他提案	防災訓練	子育てサークル（1, 2, 3才の子供と母）	保健センターでの検診のあとの（子ども）コミュニケーションの場をつくる
実施主体	自治会	学区	豊山町
開催時期・回数	春、秋（各1回）	運、学、子育てサークル 秋、冬、通年 各一回、週一回	運、祭、検診 秋、夏、通年 各一回、月2回

ステップ4：お迎えイベントの提案			グループ（7）
	自治会レベル	小学校区レベル	町レベル
イベント提案	・折紙教室 ・公園清掃後お茶会（10分程度） ・草取り後BBQ	・あいさつ運動	・リサイクル空缶拾い
その他提案	・女子会	・神明公園でバーベキュー	・お祭り ・運動会 ・マラソン大会
実施主体			
開催時期・回数	年2回	年1回	年1回

ステップ4：お迎えイベントの提案			グループ（8）
	自治会レベル	小学校区レベル	町レベル
イベント提案	・自治会単位で新規入会 ・歓迎会を開催する ・各組で新しい方が入られたらお誘いをしたら？	・学校の行事に一般も参加できる様 ・子供とホークダンス、昼食会	・シルバー世代の参加しやすい場所 ・文化協会、体育協会への参加をPRする

	・新しい住民に自治会加入を進める場所(時)を作る		
その他提案	・半期に一度程度各自治会で集まる機会を作り、新規加入者情報や加入を進める ・回覧にて知らせる ・新しい住民に自治会加入を進める場所(時)を作る	・学校行事がある時、お年寄りを招待しては、いかがでしょうか？ ・おじいちゃんおばあちゃんとの交流を増やす	・火、木曜日神明公園で体操しているのをもっとPRする ・いろいろなグループ、団体等ある事を広報等で一般の人に告知する
実施主体	自治会	各学校	文化協会
開催時期・回数	前期 後期 2回	学校の予定に合わせる	

ステップ4：お迎えイベントの提案			グループ(9))
	自治会レベル	小学校区レベル	町レベル
イベント提案	1. 老人会でのお茶会 2. 公園のくさ	1. ドッジボール大会 2. いもほり大会(じゃがいも、さつまいも)	1. カラオケ大会
その他提案	・自治会新聞を作って、新しい入居者の紹介をする		
実施主体	1. 老人会 2. 自治会、子供会、老人会	1. 体育員(自治会) 2. 自治会、子供会	1. 町役場
開催時期・回数	1. 年4回 2. 年2回	1. 年1回 2. 年2回	1. 年1回

●●●●●●●●●● 休憩・席替え (15分) ●●●●●●●●●●

## 【第6ラウンド】

14:45

### ステップ5：『お迎えイベント』の実行委員会を組織してください【討議】

- 20分 ・ステップ4で提案されたイベントの中から是非実現したい内容のものを選んで下さい。その時、同じ小学校区の参加者が集まっているグループは、「小学校区レベル」のイベント提案の中から、3つの小学校区の参加者が混じっているグループは、「町レベル」のイベント提案の中から選んで下さい。
- 30分 ・地域のリーダーの顔を思い浮かべながら、イベントの実行委員会にふさわしい人の資質と条件を整理してみてください。



15:35

**ステップ6：発表と投票 [発表・投票]**

30分 ・各グループの提案内容を全体場で発表してもらいます。

10分 ・各グループの発表を聞いて、是非実現したい、かつ実現できそうな企画を小学校レベルと町レベルからそれぞれ1つ選んで、個人でシール投票して下さい。  
(シール投票1人2票)

**[イベント企画の選択と実行委員会の提案のまとめ]**

● 神明公園でBBQ (フラダンス、キッズ・一輪車発表会)

ステップ5：お迎えイベントの実行委員会組織の提案		グループ(1) 16票
	求められる資質と条件	例えば誰?
実行委員長	知名度のある人 求人力のある人	岩村さん 安藤さん 坪井さん
シルバーリーダー	健康でフレンドリーな人	できれば公園近くの畑で野菜を作っている人
ミドルリーダー	行動力のある人	子育てが落ち着いた女性の人
ヤングリーダー	社交的な人	小学生の子供をもつ親
学生リーダー	地域に関心のある学生さん	中年リーダーの子供さん
その他の 実行部隊	意欲のある人	

● 花見

ステップ5：お迎えイベントの実行委員会組織の提案		グループ(2) 12票
	求められる資質と条件	例えば誰?
実行委員長	判断力(定年になったから)	河村弘考
シルバーリーダー	まとめ役適任	河村弥〇
ミドルリーダー	明朗	河村千恵
ヤングリーダー	行動力	高橋正樹
子供会リーダー		
その他の 実行部隊	トゥリックオワートゥリート (ハロウィン)	子供会

● バザー

ステップ5：お迎えイベントの実行委員会組織の提案		グループ（3）	5票
	求められる資質と条件	例えば誰？	
実行委員長	統率力	鉄崎さん	
シルバーリーダー	色んな物事を知り悩みを聞いてくれる	イチロー	
ミドルリーダー	学校行事にくわしい	河ベ先生	
ヤングリーダー	行動力	鉄崎さん	
女性リーダー	女性ならではの発想 おもてなし	校長先生	
その他の 実行部隊	PTA 自治会		

● 芋ほり交流イベント

ステップ5：お迎えイベントの実行委員会組織の提案		グループ（4）	14票
	求められる資質と条件	例えば誰？	
実行委員長	アウトドア経験者で統率力のある人	鉄崎幹人	
シルバーリーダー	定年退職者で地域から信頼のある人	勝又直登	
ミドルリーダー	声が大きく、行動力のある人	岡島千代己	
ヤングリーダー	大学生	岡島早希	
農業リーダー	畑の持ち主	小塚八郎	
その他の 実行部隊	小学生以下の子を持つ親と子	高橋まど花	

● ウォーキングで町内を紹介

ステップ5：お迎えイベントの実行委員会組織の提案		グループ（5）	6票
	求められる資質と条件	例えば誰？	
実行委員長	元町会議員	戸田さん	
シルバーリーダー	豊山町の歴史を知っている人	長谷川さん	
ミドルリーダー	最近初老祝いをした人		
ヤングリーダー	豊山町に3年以上住んでいる人		
〇〇リーダー	文団長		
その他の 実行部隊	近所の人		

● ラジオ体操

ステップ5：お迎えイベントの実行委員会組織の提案		グループ（6）	8票
	求められる資質と条件	例えば誰？	
実行委員長	実行力のある人	鉄崎幹人	
シルバーリーダー	元気な人		

ミドルリーダー	スポーツ好きな人	
ヤングリーダー	スポーツ好きな人	
〇〇リーダー		
その他の 実行部隊	町、全体参加できる人	

● バザー

ステップ5：お迎えイベントの実行委員会組織の提案		グループ（7）	5票
	求められる資質と条件	例えば誰？	
実行委員長	行動力、包容力	PTA、役員の中から選出	
シルバーリーダー	できるだけ多趣味の方	各自治会の老人会で選出	
ミドルリーダー	時間にゆとりのある方	バザーの経験者	
ヤングリーダー		子供会の会長さん	
〇〇リーダー			
その他の 実行部隊		小学校の先生方 町職員	

● フリマ

ステップ5：お迎えイベントの実行委員会組織の提案		グループ（8）	9票
	求められる資質と条件	例えば誰？	
実行委員長	人に任せられる、まとめることができる。 方針に一貫性があり、決断を下す事ができる人。 人の気持ちが良い人。 人間身に暖かみがある人。	自由のきく人、仕事などで時間をとらない人	
シルバーリーダー	経験豊富な人。 頭が柔らかい	東野さん	
ミドルリーダー	声の出せる人		
ヤングリーダー	行動力のある人		
〇〇リーダー	会場にくる子供を見てられる。		
その他の 実行部隊	コミュニケーション能力が高い人 気配りのできる人 経理に強い		

● 夏祭り

ステップ5：お迎えイベントの実行委員会組織の提案		グループ（9）	3票
	求められる資質と条件	例えば誰？	
実行委員長	リーダーシップがあり、実行力のある方。 町内有名人である事。	鉄崎幹人様	

シルバーリーダー	リーダーシップがある事	名老人会会長
ミドルリーダー	リーダーシップがある事	名老人会会長
ヤングリーダー	行動力のある方 フットワークの軽い方	
企画リーダー	町役場、企画運営等に詳しい方	企画係（役場）
その他の 実行部隊		

**16:15**

**ステップ7：まとめ**

10分 ・最後のアンケートをお願いします。

5分 ・事務局より連絡事項の確認

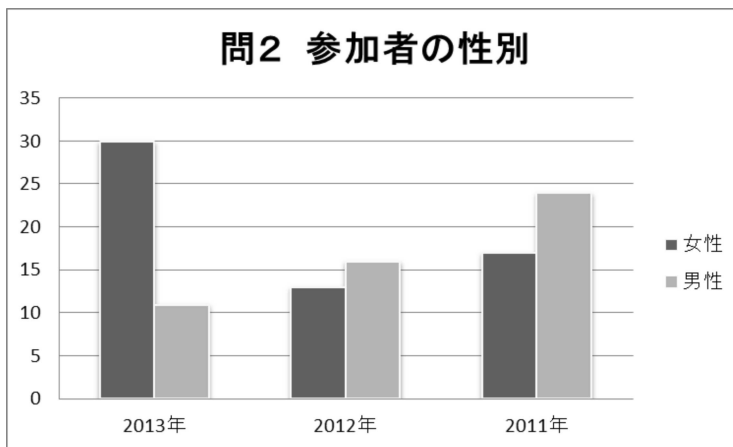
#### 4. 資料：アンケート結果の概要

今年度で3回実施した町民討議会議の参加の方に実施したアンケート結果の概要について、同一項目を比較した結果を報告します。

##### ●参加者の属性について

###### 【問2 参加者の性別】

・2011年と2012年は男性の割合が全体の59%と55%というように半数以上が男性だったが、2013年の今年、反対に女性が全体の73%と大きく増えた。これは、参加者すべてが話しやすい雰囲気町の町民討議会議の内容が町民の多くに知られるようになり、女性の方が興味を持つようになったのではないかと考えられる。



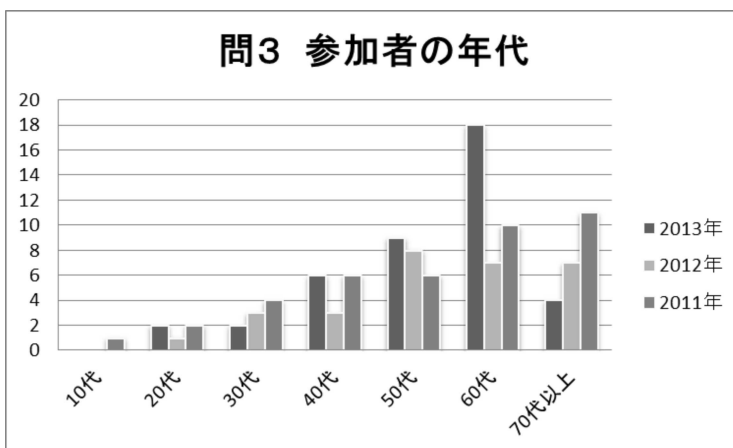
###### 【問3 参加者の年代】

・10代～40代は、あまり変化がみられない。

・50代は、増加傾向にある。

・60代は、最も大きく増加している。2011年と2012年は全体の25%くらいだったのが2013年の今年、44%と大きく変化した。

・それに対して70代の減少傾向が顕著である。これも町民討議会議のプログラム内容が知られるようになり、時間の長さやグループ討議の形式が年配者に敬遠される傾向にあることが考えられる。

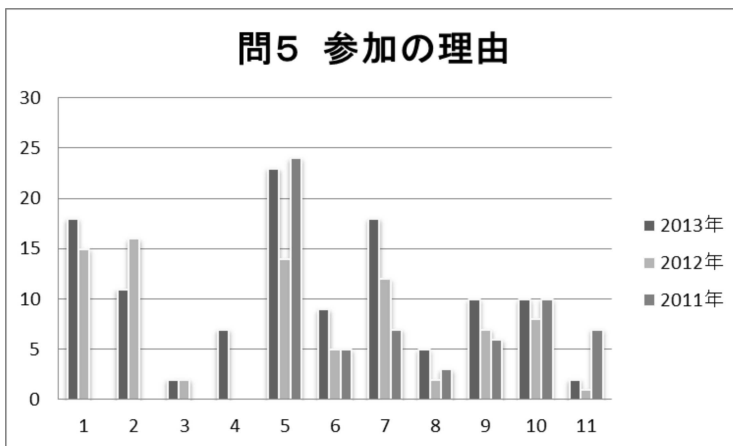


###### 【問5 参加の理由】

・毎年、選択肢5番の「豊山町のまちづくりに自分の意見が活用されるかもしれないから」と答える参加者が一番多い。

・他に変化が見られたのは、7番の「日程の都合が良かったから」と答えた人が11%⇒15%⇒16%と年々増えている。

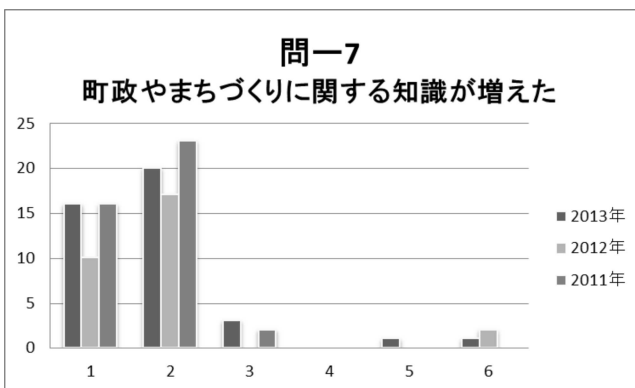
・行政に対する期待は参加者の変わらぬ思いといえる。



●町民討議会議の評価について

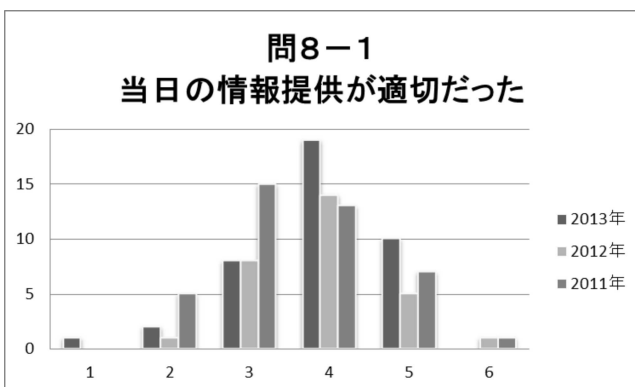
【問7 町政やまちづくりに関する知識が増えた】

・毎年、非常にそう思うとややそう思うという回答が多い。(1がそう思う、6は無回答) 3年間の比較については大きな変化はみられない。



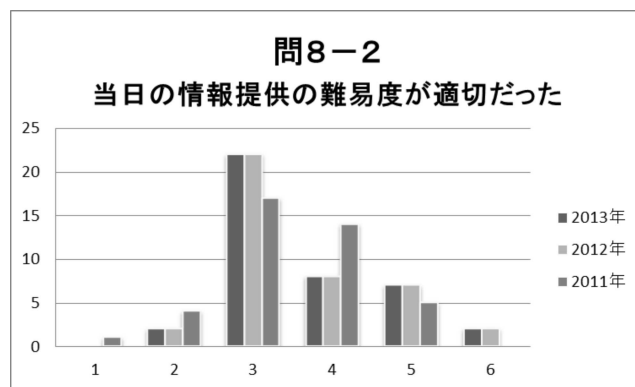
【問8-1 当日の情報提供が適切だった】

・そう思う (5がそう思う、6は無回答) という回答が17%⇒17%⇒25%と年々増えていっているので情報提供については、改善されていると考えられる。



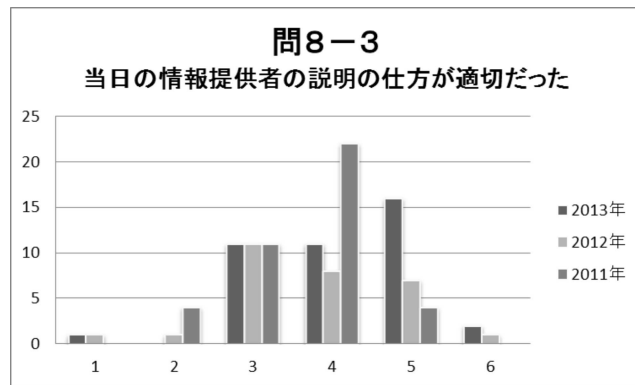
【問8-2 当日の情報提供の難易度が適切だった】

・どちらともいえないという回答が最も多く、改善はみられない。毎年のテーマが異なるので比較は難しいが、改善が求められる点である。



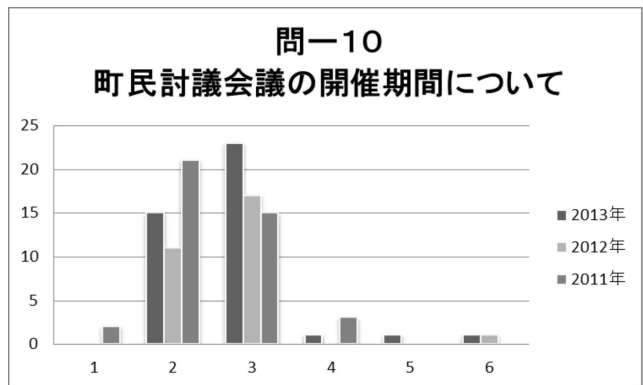
【問8-3 当日の情報提供者の説明の仕方が適切だった】

・そう思うという回答が10%⇒24%⇒39%というように年々増えているので情報提供者の説明の質も年々良くなっていると考えられる。



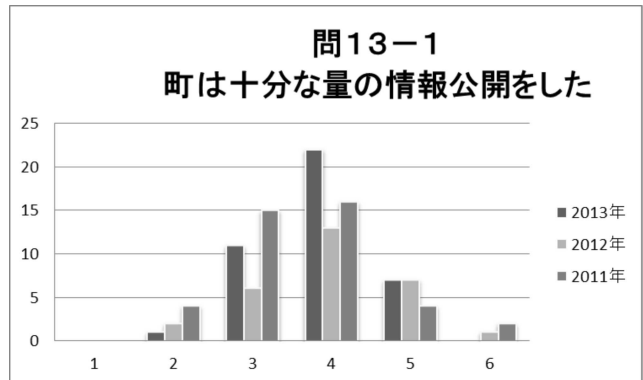
【問10 町民討議会議の開催期間について】

・適切であると回答する人が年々増えている。(1がとても長い、3が適切である、5はとても短い、6は無回答) 町民討議会議のプログラム内容に対する事前の理解が広がっていることが推測できる結果である。



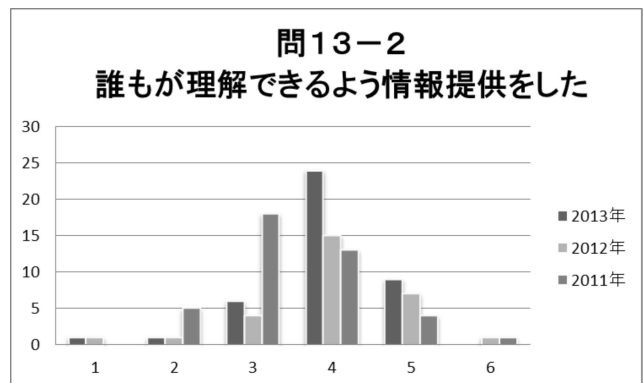
【問13-1 テーマについて十分な量の情報公開をした】

・ややそう思うという回答が年々39%⇒45%⇒54%というように増えていっているので毎年、町の姿勢と参加者の町への信頼感は改善されていると考えられる。



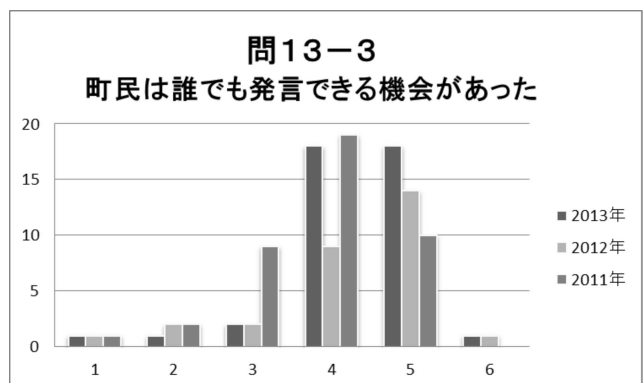
【問13-2 誰もが理解できるよう情報提供をした】

・ややそう思うを見ても32%⇒52%⇒59%というように年々増えている。非常にそう思うも10%⇒24%⇒22%と増えつつあるので年々、誰もが理解できるよう情報提供する努力を行政が重ねていることが現れている。



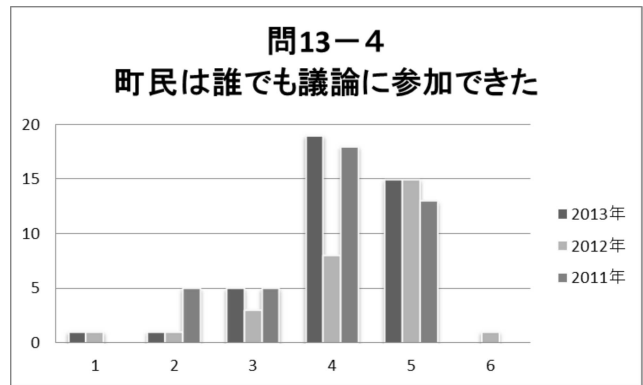
【問13-3 町民は誰でも発言できる機会があった】

・この項目は非常にそう思う(5番)という回答が24%⇒48%⇒44%と増えつつあるので2011年に比べ2013年は、プログラム内容が大きく改善されたと思われる。



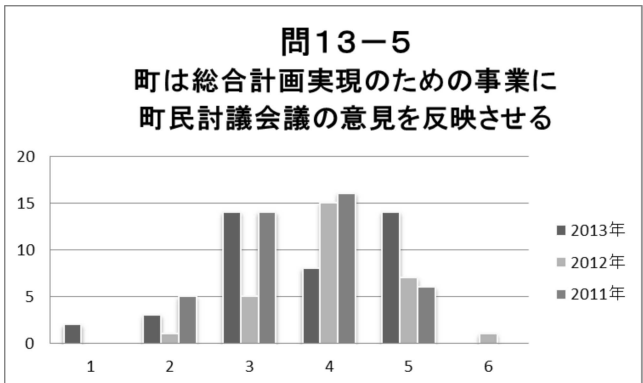
【問13-4 町民は誰でも議論に参加できた】

・この項目は非常にそう思う（5番）という回答が32%⇒52%⇒37%というように去年は改善されたが、今年は2011年と同じ水準に戻ってしまっている。発言はできたが、議論への参加はできなかったという意味の吟味が必要である。



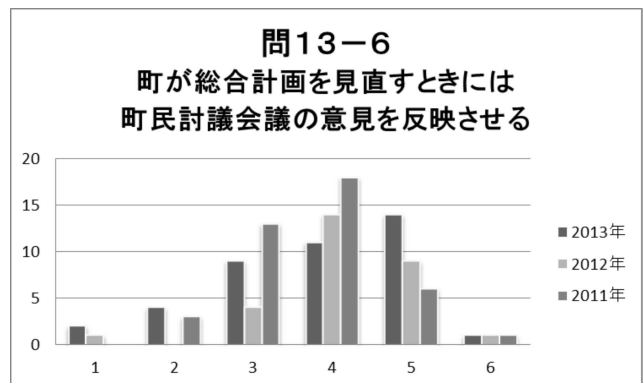
【問13-5 町は総合計画のための事業に町民討議会議の意見を反映させる】

・この項目は、そう思う（5がそう思う、6は無回答）という回答が15%⇒24%⇒34%と年々増えている。一方で、どちらでもないは2011年の水準に戻っている。町への期待感が強まっているとは言えるのではないか。



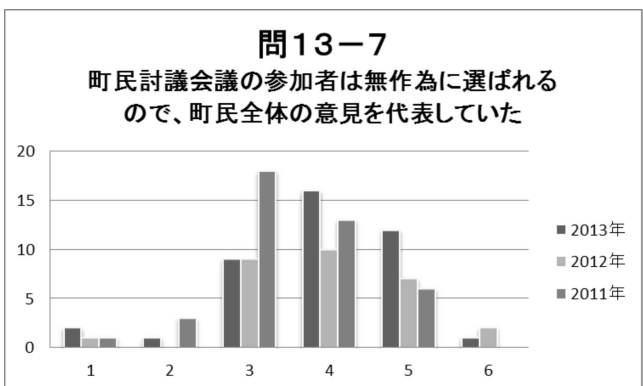
【問13-6 町が総合計画を見直すときには町民討議会議の意見を反映させる】

・そう思うという回答が15%⇒24%⇒34%と年々増えている。前問と同様、町に対する参加者の期待感と信頼感が高まりつつある。



【問13-7 町民討議会議の参加者は無作為に選ばれるので、町民全体の意見を代表していた】

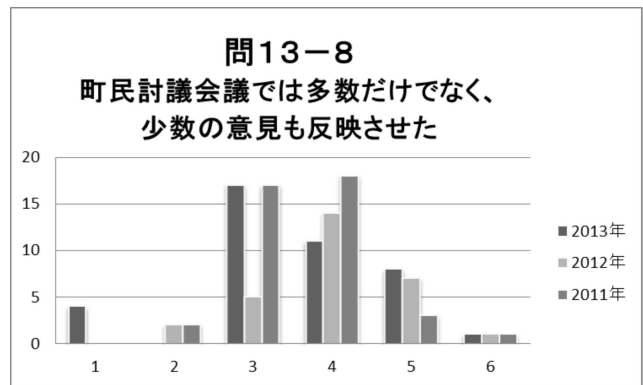
・この項目の変化の意味は重要である。ややそう思うという回答が32%⇒34%⇒39%と年々増えている。また非常にそう思うという回答も15%⇒24%⇒29%というように増えていっている。町民討議会議の熟議の場の認知度が高まっていると考えられるのではないだろうか。





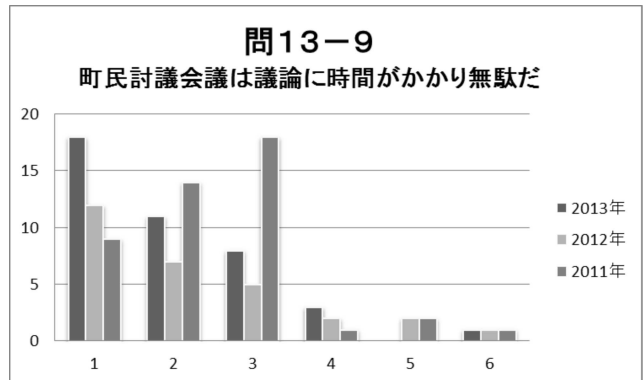
【問13-8 町民討議会議では多数だけでなく、少数の意見も反映された】

・この項目は非常にそう思うという回答が7%⇒24%⇒20%と去年は改善されたが今年は4%落ちている。ややそう思うが減り、そう思わないが増えている。毎年どちらともいえないという回答が多い傾向にある。プログラムの問題だと考えられる。



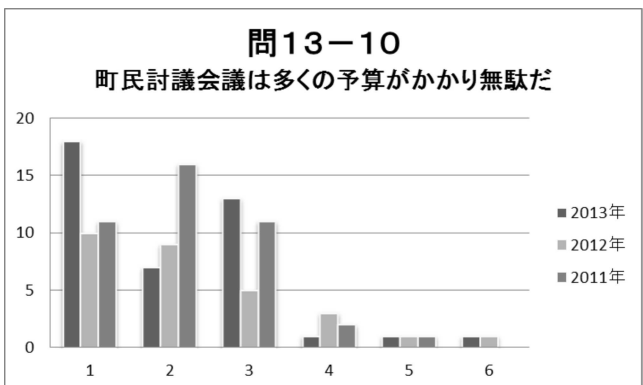
【問13-9 町民討議会議は議論に時間がかかり無駄だ】

・この項目はそう思わないという回答（1がそうは思わない、6は無回答）が、20%⇒41%⇒44%と年々増えているので町民討議会議の場に対する理解は高まっていると考えられる。



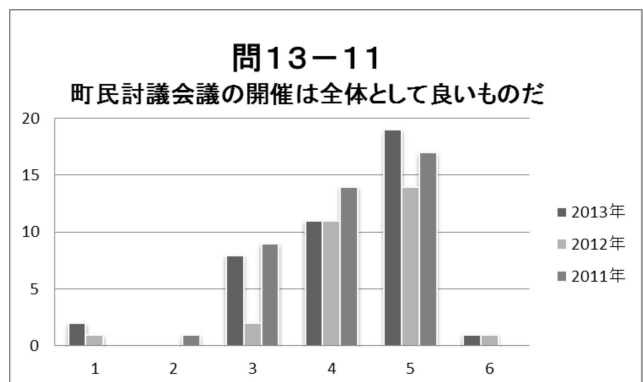
【問13-10 町民討議会議は多くの予算がかかり無駄だ】

・この項目は、そう思わないという回答が27%⇒34%⇒44%と年々増えているので、予算がかかり無駄だと思っている町民は年々減ってきている。しかし、2013年はどちらとも思わないという回答も増えている点に注意しておきたい。



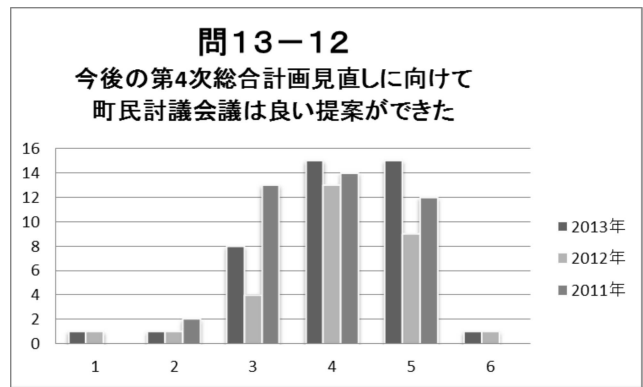
【問13-11 町民討議会議の開催は全体として良いものだ】

・この項目は、毎年ややそう思うと非常にそう思う（4がややそう思う、5がそう思う、6は無回答）という回答が多く、町民討議会議は良いものだと認識している町民が多いというのが分かる。理解は広がりつつあるが、数字的にはすでに上限に近いとも考えられる。



【問13-12 今後の第4次総合計画見直しに向けて町民討議会議は良い提案ができた】

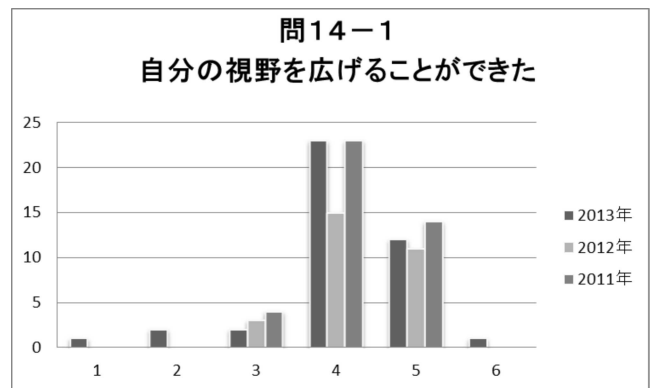
・この項目は、非常にそう思うという回答が、29%⇒31%⇒37%と大きな差はないが年々増えてきている。熟議の成果に対する満足感も高まっていると考えられる。



●参加者意識の変化について

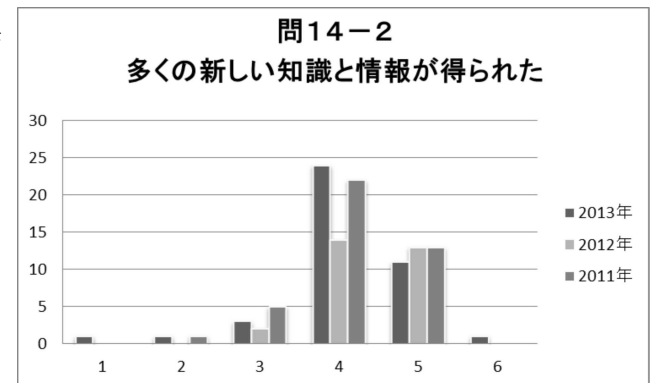
【問14-1 自分の視野を広げることができた】

・この項目はややそう思う（4がややそう思う、6は無回答）が最も多く、毎年自分の視野を広げることができたという回答する町民が多いということが分かる。3年間の比較についてはあまり変化がみられない。



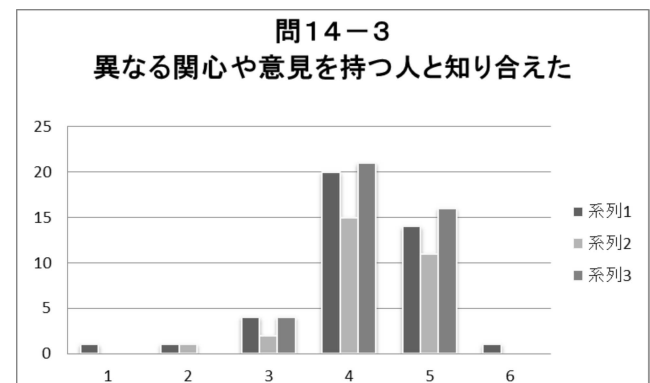
【問14-2 多くの新しい知識と情報が得られた】

・この項目も毎年ややそう思うが多く、毎年多くの知識と情報が得られたと回答する町民が多い。3年間の比較については大きな変化はみられない。



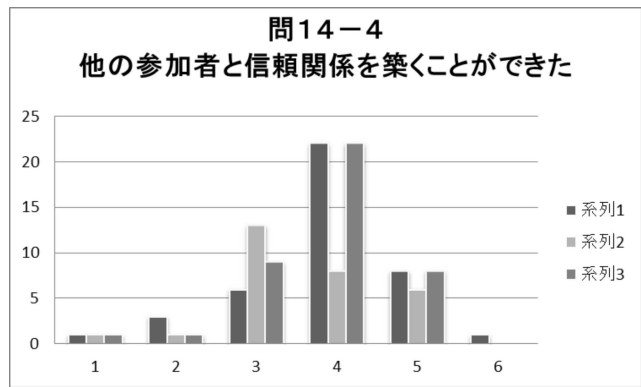
【問14-3 異なる関心や意見を持つ人と知り合えた】

・この項目は、毎年ややそう思うと非常にそう思うという回答が8割以上をしめている。3年間の比較については、ほとんど変化がみられない。ほぼ上限の数字であると考えられる。



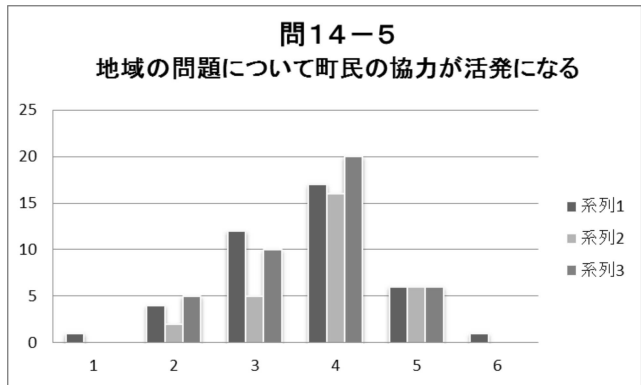
【問14-4 他の参加者と信頼関係を築くことができた】

- ・この項目はややそう思うという回答が毎年最も多く、町民討議会議の場を通して、町民同士の信頼関係を築けているということが分かる。
- ・3年間の比較については大きな変化がみられない。



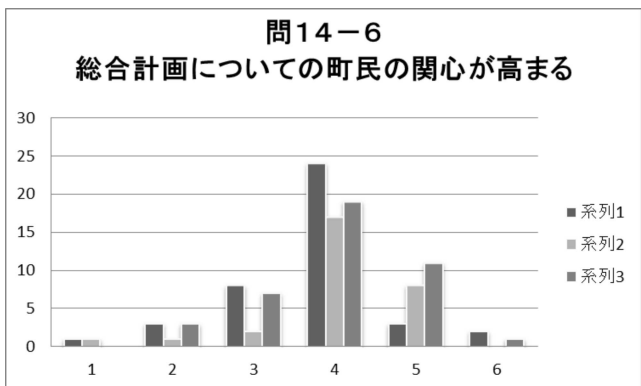
【問14-5 地域の問題について町民の協力が活発になる】

- ・この項目はややそう思うという回答が毎年最も多い。
- ・3年間の比較については大きな変化がみられない。



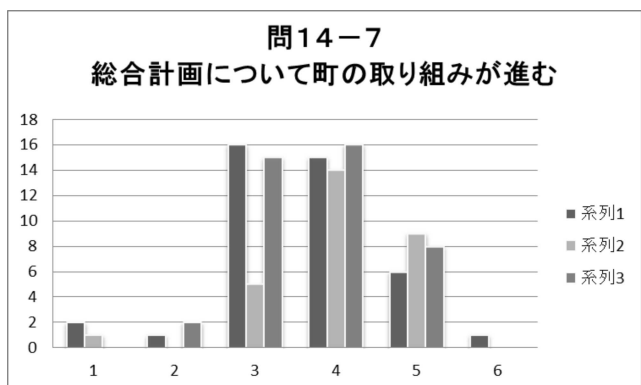
【問14-6 総合計画についての町民の関心が高まる】

- ・この項目はややそう思うという回答が毎年最も多い。ただし、そう思うが、今年度は減っている。テーマ設定の問題があると考えられる。



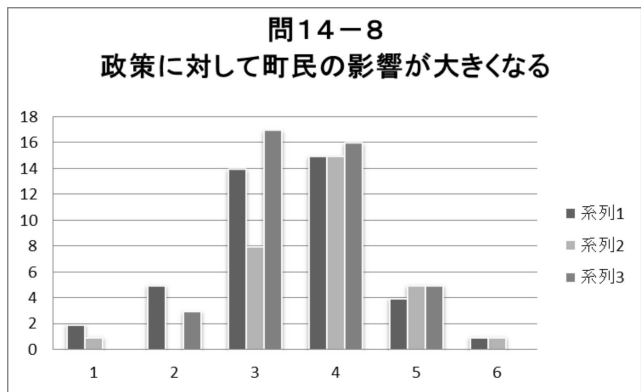
【問14-7 総合計画について町の取り組みが進む】

- ・この項目は非常にそう思うという回答が20%⇒31%⇒15%というように去年は改善されているが、2013年度の今年度は2011年を下回ってしまっている。ややそう思うという回答は39%⇒48%⇒37%と毎年比較的多い。



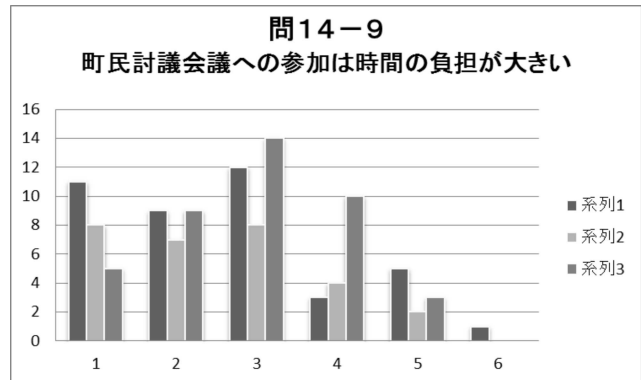
【問14-8 政策に対して町民の影響が大きくなる】

・この項目は、問14-7と同様どちらでもないややそう思うという回答が毎年多い。大きな変化は見られない。



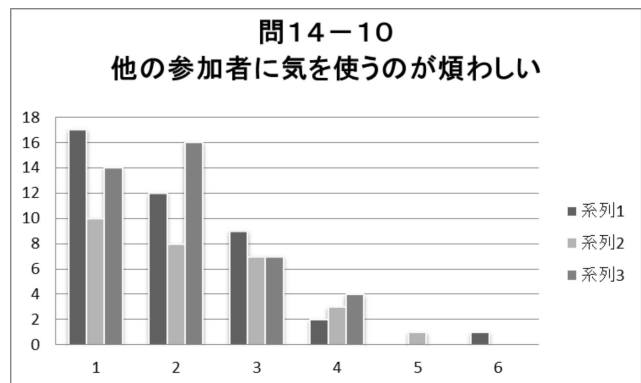
【問14-9 町民討議会議への参加は時間の負担が大きい】

・この項目は、そう思わない（1がそう思わない、6は無回答）が12%⇒28%⇒27%というように年々増えつつある点に注目したい。町民討議会議の進め方に対する理解が広がっていることがうかがえる結果である。



【問14-10 他の参加者に気を使うのが煩わしい】

・そう思わない（1がそう思わない、6は無回答）という回答が34%⇒34%⇒41%と増えているが、ややそう思うは減っている。全体としては大きな変化はないと思われる。



●まとめ

アンケート結果から、3年目の現時点では参加者の意識に以下のような変化が現れていると言える。

- ・2013年の今年、女性が全体の73%と大きく増えた。これは、参加者すべてが話しやすい雰囲気町の町民討議会議の内容が町民の多くに知られるようになり、女性の方が興味を持つようになったのではないかと考えられる。
- ・それに対して70代の減少傾向が顕著である。これも町民討議会議のプログラム内容が知られるようになり、時間の長さやグループ討議の形式が年配者に敬遠される傾向にあることが考えられる。
- ・市民討議会の開催期間については、適切であると回答する人が年々増えている。町民討議会議のプログラム内容に対する事前の理解が広がっていることが推測できる結果である。

- ・町からの情報公開については、ややそう思うという回答が年々 39%⇒45%⇒54%と  
いうように増えていっているので毎年、参加者の町の姿勢に対する信頼感は改善されてい  
ると考えられる。
- ・総合計画の見直しに町民討議会議の意見を反映するかどうかという質問に対しては、そう  
思うという回答が 15%⇒24%⇒34%と年々増えている。前問と同様、町に対する参加  
者の期待感と信頼感は高まりつつある。
- ・町民討議会議の参加者が町民全体の意見を代表していたかどうかという質問の変化の意  
味は重要である。ややそう思うという回答が 32%⇒34%⇒39%と年々増えている。  
また非常にそう思うという回答も 15%⇒24%⇒29%というように増えていっている。  
町民討議会議の熟議の場の認知度が高まっていると考えられるのではないだろうか。ただ  
し、町民討議会議の参加者には代表権はないことが事前に説明されている。すなわち、形  
式的な意味での意見の代表制ではなく、実質的な意味において、意見の多様性と共有化、  
合意形成のプロセスに対する評価が上がっていると考えられるのである。
- ・町民討議会議は無駄かどうかという質問に対しては、そう思わないという回答（1がそう  
は思わない、6は無回答）が、20%⇒41%⇒44%と年々増えているので町民討議会議  
の場に対する理解は高まっていると考えられる。
- ・町民討議会議の開催は全体として良いものかどうかという質問は、毎年ややそう思うと非  
常にそう思う（4がややそう思う、5がそう思う、6は無回答）という回答が多く、町民討  
議会議は良いものだとは認識している町民が多いというのが分かる。理解は広がりつつあるが、  
数値的にはすでに上限に近いとも考えられる。
- ・これに対して、参加者意識の質問に対しては、概して大きな変化は見られない。この項目の  
満足感が高い数字で安定している。
- ・住民と町の意識は、この3年間の間に徐々に信頼関係を増しながら近づきつつあることがアン  
ケートの数字の変化からは、読み取れるのではないだろうか。